

## 【高齢者の現状 5】

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

### (4) 不安のある生活

①現在の高齢者は、若い時は戦争、貧困な世の中、そして流れの速い時代を過ごしてきた世代です。その高齢者を食い物にする人たちが世の中にはいます。

その内容の一部は高齢者を狙った犯罪です。それは「オレオレ詐欺」など振り込め詐欺や悪徳リフォーム、年金詐欺、悪徳商法等があります。

特に詐欺被害の根底には「孤独」があり、被害に遭ったお年寄りは「親切に話を聞いてくれた」「親身に相談に乗ってくれた」と犯人を話しており、日頃より社会から隔離され孤独であるところに犯罪者がつけ込んでいます。

お年寄りの多くが土地や現金などの財産をある程度持っており、そしてその管理に関して無防備となっているところがあります。

詐欺被害の一部は認知症のお年寄りですが、それ以外であっても判断するための情報が少なく、結果犯罪被害に遭っているケースが多いです。

何かトラブルに巻き込まれても相談する人が身近にいないため泣き寝入りのままということもあるようです。

②高齢者のことを考えている社会であるようなことを言っていますが、実際はどうかです。地域での仕組み、家庭、家族での話し合い、ルールなどがどうなっているのかです。また、理解できる社会ですか、相談に直ぐにのってくれる社会かを考えて見ると、どのように写って見えますか、事実をはっきり見てください。そうしないと課題が明確になってきません。

③現在の社会は、高齢者にとって寂しい世の中であると言われていています。若い世代が高齢者に対しての尊敬心がなく、冷たい視線で見ているように感じることが多い社会が現状です。

成功者でなければ、認めてくれないような世の中であり、成功者とはなにかを考えさせられてしまいます。世の中で多くの方は時代の流れに無理やりに乗せられて生きてきたものであり、その中に生きる生活を求めて毎日をごろごろ生きてきたものであり、高齢者になった時に今までの生活ではダメですと言われても困ります。

将来の生活を求めながら政治に期待して生きてきたものであり、何か悪いことでもしたかのごとく、冷たい生活が待っているような社会では寂しい限りです。

④高齢者の生活に対して、適切にアドバイスをしてくれる人が生活をする地域に見えてきませんし、相談に乗ってくれる人もいません。いろんな問題点、

課題、留意点をハッキリさせることが必要とは思いますが、その方法、方向性を指導してくれる人が欲しいですし、継続して相談に乗ってくれる人が必要です。

実行を伴うことを考えて欲しいという要望を多く耳にします。直ぐにでも取り組むことが必要であり、時間の余裕がないのが現実です。今やれることは問題点、課題、留意点をハッキリさせることです。その中に時間的余裕の無いものがあれば、行政、包括支援センター、市町村社協、ケアマネジャーなどに相談してください。